



発行所

北東白石まちづくり協議会
地域情報広報委員会
札幌市白石区北郷3条1丁目4-1
北都地区会館
TEL 011-875-3077

バス路線廃止問題二転三転、中央バスで再継続 JRバス決定に税金の無駄づかいと、市の対応に批判続出

白石・厚別の北海道中央バス路線廃止問題で、中央バスは路線廃止届けを撤回し、継続して運行することで札幌市との合意に至り、最終結着となる見通しとなった。

6月29日の地域説明会で、7月中には次のバス業者の選定を行なうとの説明で、補助金の話は一切無かった。ただ、最悪の時でも路線については継続運行のできるよう「委託運行」も考えているので安心して下さいとの説明であった。

その後、札幌市は継続の業者の選定にあたったが、補助金なしではどこも無く、条件付で2社が名乗りを上げた。

市は7月31日記者会見を行ない、「JR北海道バスに絞り3年間の業務委託運行を行い平成24年からJRバスの自主運行に移行する」との基本合意を発表した。

だが、JRバスからは「市からの補助金を受けての自主運営を予定するが、一度に大量の路線運行を引き受けることから、その初期投資について市が負担する事など」が求められた。

その後の記者団との質問など、後日の新聞テレビなどで、段々とJRバスとの交渉内容が明らかになってきた。

19億円もの初期投資

それによると、札幌市は初期投資費用として、約10億円、これは最初のバスの購入で新車、中古車合わせて50~60台、停留所の交換新設、人件費などに必要な費用とのことであったが、後になってくると、10億円どころか19億円にも委託費が膨らむことが判明、税金の無駄づかいと批判続出となった。

住民でつくる「中央バス運行継続を求める会」は8月28日3780名もの署名活動を行い「19億円税金投入は地域的な問題ではなく、市全体の問題だ」「JRバスへの業務委託では19億円かかるが、中央バスの場合は4億5千万円で済む」と主張。これに対し市は「長期的には同程度になる」と主張。

札幌市、稚拙な対応（毎日新聞見出し）

それにしても、市議会もなめられたもんで、19億円もの金額を市議会にもかけないで、JRと契約をしてしまうなんて、誰が支払うのか。

市議会もようやく8月22日「後始末に多額の税金を使われてはたまらない」と市を批判。

結局、市は8月30日に上田市長が中央バスに出向き、継続運行で基本合意を取り付けた。

一時はJRバスに決め、中央バスに行き中央バスに決め、一夜にして撤回、JRバスにと発表、その後再度の中央バス本社での交渉での最終合意となったが、JRバスは憤慨、違約金を求める。バス購入の違約金だけでも1億5千万ほどになるという。

「民営化で全て」ではない市の責任

今回赤字路線が表面に出たが、市内で赤字路線はまだまだある。それゆえこの地域だけの問題ではない。市営バスを一括民営化したのであるから、補助金制度の見直しも必要か。平成18年からこの問題の情報公開がなされなかったのも問題。地域住民との事前の対話も必要だ。違約金を支払うにしても誰が責任を取るのか。10月4日（北白石地区センター13時より・白石区民センター18:30~）には地域説明会を行なう予定。地域皆さんの参加を乞う。

北の郷里（きたのこうり） 名前の由来

郷とは昔、郡内の一区画で数村をあわせたもの。郷里（こうり）とはその最小単位をあらわしていて、小さな「むらざと」を意味します。郷里（こうり）は近代においては郷里（きょうり、ふるさと）と呼ばれています。白石区には郷が三つあります。南郷、本郷と北郷です。ここから「郷」を一字いただきました。北は白石区の北東、北海道の北の文字、日本の北を示し、郷里は我が大地、むらざと、ふるさとを示します。地紋は郷土の稲穂です。

「北の郷里」は北郷を連想させる名でもありますが、「日本の北のふるさと」との大きな意味を持たせながら、地域にあっては「ぬくもりと優しさに満ちたまちづくり」を目指します。

【北東白石まちづくり協議会の構成団体】

北東白石まちづくり協議会の構成団体＝ ◆北東白石連合町内会 ◆北東白石地区民生委員・児童委員協議会 ◆北東白石地区社会福祉協議会（北東白石地区福祉のまち推進センター） ◆北東白石地区青少年育成委員会 ◆北東白石地区体育振興会 ◆北東白石地区交通安全実践会 ◆北東白石地区交通安全母の会 ◆日赤奉仕団北東白石分団 ◆北東白石地区こども会連絡協議会（北都なかよし子ども会、東川下子ども会、川北こども会） ◆北都明生会 ◆東川下老人クラブ ◆川北老人クラブ 楽会 ◆川下老人クラブ ◆北都商店街振興組合

東川下地区ふるさと祭り開催

8月31日、8月最後の日曜日、晴天の一日。厚別川パークゴルフ場には朝6時から両団地自治会と東川下町内会、三町内の実行委員の人達が集まりこの日の準備が始まりました。

三町内会が協力してテントの設営、会場のテーブル、椅子や、ステージ造り、音響など準備完了。11時開演となりました。午後に入って会場は満員状況。最後の夏の賑わいの中、一日を楽しく絆を深めたお祭りで、今年も盛大に終了致しま



各町内会で敬老の日の催し

北都町内会（77歳以上）

敬老の日当日までに対象者全員に記念品を贈呈致しました。

川北町内会（75歳以上）

全員に長寿お祝い品として記念品（お米券）を贈呈致しました。

東川下町内会（75歳以上）

敬老の日当日、東川下祈念会館に於いて「敬老の集い」を例年開催している。今年は70名の参加出席あり、他264名の方には記念品を贈呈致しました。

東川下団地自治会（70歳以上）

9月7日、江別「湯の花」への日帰り入浴。今年は例年より参加人数が多く47名となり、マイクロバスで二回に分けての送迎となりました。

川下団地自治会（70歳以上）

9月10日 中小屋温泉への日帰り入浴を実施21名の参加でした。

川下町内会（72歳以上）

対象者全員に記念品を贈呈致しました。

東川下町内会の「敬老の集い」



14年ぶりに「子供みこし」復活

川北町内会では、9月7日、白石神社例大祭に合わせて、子供みこし巡行が行なわれました。

これは、伝統的なみこし行事を子供たちに伝えていきたいと、川北地区氏子代表が世話人となり、実行委員会を組織し、準備を進めてきました。

みこしも新しく発注し、14年ぶりの子供みこしが実施されました。

当日は、巡行出発前に、みこしの入魂祭が行なわれ、子供の担ぎ手56名、幼児数名、実行委員、父兄と、総勢100名で町内をねり歩きました。



短冊に短冊に願いをこめた「七夕の集い」

8月7日、昨年と同じ北都小学校を会場に午前10時から午後1時まで、世代間交流委員会主催の「七夕の集い」が催されました。

当日は、コーナーも更に充実し、紙飛行機、友・遊・ボウリングなどもあり、子どもたちは新しい遊びに大喜びでした。

また、白石区の寿大学の皆さんも初めて見学に訪れ、それぞれが体験したり、感心したり、質問したりと、予定の時間があっという間に過ぎ、名残惜しそうに帰られました。

一方、北都小のグラウンドでは、今年も白石区の子育て支援「地域の親子のふれあい交流」が行なれ、ボランティア・スタッフとして北都中学校の生徒さんも参加し、小さい子の相手や、お手伝いと大奮闘をしていました。

今年も猛暑の「七夕」でしたが、各小学校のPTAの役員さん、地域の老人クラブの皆さんなどが、首にタオルをまき、汗を拭き拭き、昔遊びやゲームコーナーで子どもたちとのふれあいを大切にしていました。

地域に根づいた、この「七夕の集い」が、子どもたちの楽しい思い出として、心に残りますようにと、短冊に書き、柳の枝に結び付けました。



川下公園でふれあい遠足と凧揚げ会

北東白石ふれあい遠足会と凧揚げ会同時開催

平成20年9月23日（祭日）受付9：30分より北

都地区会館に集合、曇り空のなか、皆で準備運動、ラジオ体操で体をほぐし10時に出発、川下公園まで皆で遠足です。

会場到着後は早速凧揚げ、秋の空に先日児童会館などで作った自慢の凧が風に乗ってどんどんと揚がってゆきます。付き添いの父母や大人も童心にかえり凧揚げを満喫。

食事の時間は豚汁がふるまわれ、持参のおにぎりをほおばりながら、豚汁のお代わりをしておりました。

食事の後は朝の曇り空が快晴に成った中、みんなでチームをつくり、ゲームなどで楽しく過ごしました。



「社協」・「福まち」だより

北東白石社協
Tel 876-3833

平成20年9月17日（水）13：30より北都地区会館において「震災に備えて」と題しての地域講演会が行なわれました。今回は札幌市の出前講座の一つで講師には小島 響危機管理対策課長を迎えてのお話で、

地震のメカニズムや活断層の札幌市への影響、地震への備え、対策、風水害の影響などのお話があり、私たちの身近な事として、地震対策の必要性を強く感じました。



「連町、各単町一斉に防災訓練

平成20年度 北東白石地区一斉防災訓練

各町内会訓練実施内容

訓練日 平成20年9月21日（日）

訓練時間 9：30より11：30まで

町内会名	訓練場所	主な訓練内容	参加人員
北都	北都公園、北都地区会館	避難所に避難 無線機訓練 応急救護訓練 AED訓練	100
川北	なのはな公園	連絡網による伝達訓練 避難所に避難 防災機材の取扱い 無線機訓練 応急救護訓練	139
東川下	東川下公園	第一次近隣公園避難所に避難 東川下公園避難所に避難 避難誘導訓練 無線機訓練 防災機材の取扱い 倒壊家屋よりの救助、救出訓練 救出者の搬出訓練 バケツリレーによる消火訓練	349
東川下団地自治会、川下団地自治会合同	東川下団地自治会内公園	避難誘導訓練 無線機訓練 防災機材の取扱い 救護訓練 消火訓練	40
川下	川下会館	無線機訓練 防災機材の取扱い AED訓練 簡易担架の作成方法	10

北東白石地区一斉防災訓練は今回が初めての催しで、各町内会では上記の内容の訓練を実施いたしました。

東川下町内会防災訓練。倒壊家屋からの救出訓練風景。



白石区に郷土館を！ 白石郷土館期成会会員募集 申込 期成会事務局864-8376（阿部）又は873-8686島田まで

ちょっといい話

ラジオ体操を支えてくれているのは？

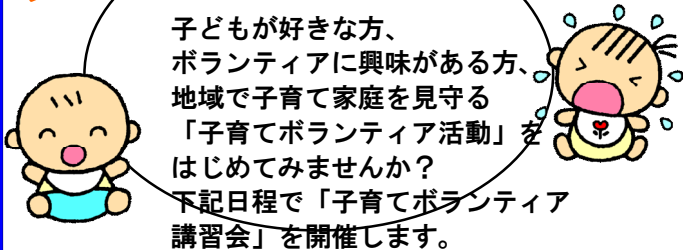
夏休みの朝6時30分地域の公園ではラジオ体操の歌がひびきわたります。ラジオ体操は、各町内会青少年部や依頼を受けている子ども会などが責任を持って実施しています。そんな中、どこにも所属をせず毎年お世話をしてくださっている方や健康のためと通ってくださる方がいます。

東川下の末永和枝さんは、ラジオ体操のお世話係を始めた当初から、主婦の貴重な朝の早い忙しい時間帯に、ラジオを片手にかかえ、ちょっと離れた公園へ毎日出向いてくださって本当に感謝です。

昨年から再開した川下町内会ラジオ体操には年長者の井上道雄さんがいます。子ども達よりも一番のりで会場入り、体操は、無理のない程度にやり終えて、“身体を動かす事は何よりの長生きの秘訣”と井上さんの後ろ姿に感じるところです。

「ラジオ体操の時期になるときもちが弾むんです。毎年毎日休まず参加しています。元気な子ども達とふれあうのが楽しみで、元気のみなもととなっています。」とは川北の高橋文夫さんです。感謝！

にこにこ子育て応援隊



子どもが好きな方、ボランティアに興味がある方、地域で子育て家庭を見守る「子育てボランティア活動」をはじめませんか？
下記日程で「子育てボランティア講習会」を開催します。

- <日時> 10月30日(木) 10:00~15:00(昼休憩1時間)
- <会場> 北都地区会館(北郷3条12丁目4-1)
- <内容> 「子育て支援の必要性と地域における活動の現状」
「子どもの発達と遊びへの興味」
「子育てサロン体験」
※「子育てサロン体験」は別日に実施。

お申し込みは10月9日(木)
午前9時から受け付けます。
下記までご連絡下さい。



問い合わせ・申し込み先

白石区保健福祉部健康・子ども課子育て支援係
白石保健センター2階(本郷通3丁目北1)
TEL 861-0345・FAX 861-0874

「遊学館」東川下バス停前の遊学館では囲碁・将棋サロン、パソコン教室、料理サロン、シルバー・介護者サロンなどを行っております。ご参加希望者は Tel.873-8686 島田まで

行事予定案内

行事	開催日	時間	場所
子育て支援教室	10月1日	10:00~	北都地区会館
バス路線地域説明会	10月4日	13:00~	北白石地区センター
バス路線地域説明会	10月4日	18:30~	白石区民センター
早朝街頭啓発	10月6日	8:00~	東川下生協前
自治組織代表者研修会	10月9日	15:00~	札幌フローラ
札幌白石更生保護女性会30周年	10月10日	17:00~	アークシティホテル
中学生の主張発表会	10月18日	13:00~	白石区民ホール
「福まち」入浴ツアー	10月20日	13:30~	北都地区会館
ゴーゴーキッズ	10月22日	10:00~	北都地区会館
認知症に関する講演	10月31日	13:30~	北都地区会館
北白石地区センター文化祭	11月1日	10:00~	北白石地区センター
	11月2日	10:00~	北白石地区センター
厚別川P/G場クローズ	11月2日	~17:00	厚別川パークゴルフ場
北都中学校30周年	11月7日	8:30~	北都中学校
北都中学校区四校交歓音楽祭	11月20日	13:50~	北都中学校

北東白石地区 認知症講演会のお知らせ

日時 10月31日(金) 13:30~15:30
場所 北都地区会館
内容 認知症に関する講演「もっと知ろう認知症」
講師 認知症友の会札幌支部沖野副会長
認知症と物忘れについての寸劇

北白石地区センター「文化祭」特別公演

札幌平岸天神(本年度YOSAKOIソーラン祭り大賞受賞)
天神太鼓公演会
日時 11月2日(日) 午後12時~1時
入場無料ですのでご来場下さい。

編集後記

今回、震度6の地震が発生したとの想定で北東白石地区一斉での防災訓練が実施されました。特に各町内会ごとに無線機が導入されたことにより、無線の交信訓練を共同で行いました。また、連絡網で召集した避難場所への集合時間を計った所もありました。皆さんも参加されましたか？。その後札幌市では震度7の想定に改正されましたので皆さんも再度地震対策を。
・中央バス問題・10月4日の地域説明会。皆さん多くの人が説明会に出て、今後のこともよく聞いてほしいと思います。
・今年度、北の郷里の編集に携わり、各号で載せる記事の内容や情報収集に苦勞致しました。
今後も良い紙面を作るために、各町内や地域ニュースをタイムリーに載せるよう努めて行きたいと思っております。情報の提供もどうぞ宜しく。